

秋の交通安全

県民総ぐるみ運動

9月30日(月)は
交通事故死ゼロ
を目指す日

令和5年度 宮城県交通安全
ポスター作文コンクール
ポスターの部 入賞作品



塩竈市立月見ヶ丘小学校2年
渡邊 涼太さん



富谷市立日吉台小学校3年
濱村くるみさん



名取市立相互台小学校5年
吉川 圭悟さん

令和6年9月21日(土)～9月30日(月)



宮城県
ホームページ



宮城県警察
ホームページ

宮城県・宮城県警察

県内の交通事故発生状況(令和6年上半期)

● 交通死亡事故は23件発生

令和6年6月末の交通死亡事故は23件23人で、前年と比べて-1件-4人となっています。

● 高齢者の交通死亡事故が多発

高齢者が死亡する交通事故は15件15人で、前年と比べて+5件+5人と増加し、全死者数の約7割を占めています。

● 自転車線はみ出し事故が約4割

正面衝突・工作物衝突・路外逸脱の合計は9件9人で、全事故の約4割を占めています。

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数			
		件数	死者数	重傷	軽傷	計	
本年	1,798	23	23	223	1,956	2,179	
前年	1,934	24	27	182	2,184	2,366	
増減	数	-136	-1	-4	41	-228	-187
	率	-7.0	-4.2	-14.8	22.5	-10.4	-7.9

みんなでかぶろうヘルメット! ～自転車も 乗れば車の なかまいり～

- 過去5年間(令和元年～令和5年)の自転車乗車中の死傷者のうち、ヘルメットを着用していた人の割合はわずか約8%にすぎず、ヘルメット非着用の死者は20人にのぼります。
- 令和5年に実施した自転車ヘルメット着用状況の全国調査で、宮城県のヘルメット着用率は10.8%と、全国平均(13.5%)を下回っています。

車道が原則、
左側を通行
歩道は例外、
歩行者を優先

交差点では信号と
一時停止を守って、
安全確認



交通事故の被害を軽減するためには
頭部を守ることが重要です!



自転車 安全利用5則

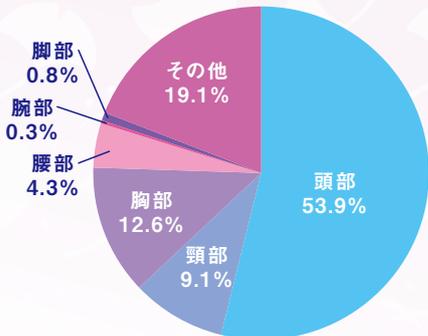
夜間は
ライトを点灯

飲酒運転は
禁止

ヘルメットを
着用

みんなでかぶろう
ヘルメット

自転車乗車中死者の人身損傷主部位(致命傷の部位)
【令和元年～令和5年合計】



・「その他」とは、顔部、腹部等をいう。

※グラフデータは、警察庁ホームページから抜粋

ヘルメット着用状況別の致死率比較
【令和元年～令和5年合計】



夕暮れ、夜間は反射材を身につけよう! ～反射材 光って気づいて 事故防止～

例年、日の入り時間が急激に早まる秋口以降は、夕暮れ時から夜にかけて重大事故が多発しています。自動車は早めのライト点灯とハイビームの活用、歩行者や自転車のみなさんは、反射材の着用と明るい服装を心がけましょう。

夜間ドライバーから歩行者が見える距離



命を守る反射材